ＫＥＩＨＩＮ　ＰＥ２４　キャブレターキット　取扱説明書

（競技専用）

商品番号	：０３－０５－００２４　キャブレターキット
	：０３－０２－０００５　マニホールドキット
適応車種	：Ｍｏｎｋｅｙ・Ｇｏｒｉｌｌａ
フレーム番号	：Ｚ５０Ｊ－１３０００１７～
	：ＡＢ２７－１０００００１～１８９９９９９

・この度は、弊社商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎当製品は、弊社製ヘッド装着車両専用です。
　ノーマルヘッド車両には使用出来ませんのでご注意下さい。
◎エンジン内部に水が入り込んだ場合、エンジン不調の原因となりますので、雨天中の走行は出来るだけ避けて下さい。又、洗浄時等はキャブレターに水が掛からないようビニール等で覆って下さい。
◎キャブレターは、天候・湿度・気温・標高や気圧等、自然現象及び車体差、キャブレターの個体差等によりセッティングを変更する必要があります。
　個々のエンジン、条件に合ったセッティングを行って下さい。
◎車体番号Ｚ５０Ｊ－１３０００１７～１５１０４００の車両はスロットルバルブが全開にならない為にスロットルパイプの加工が必要となります。

⚠注意　この内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
　（部品の脱落の原因となります。）

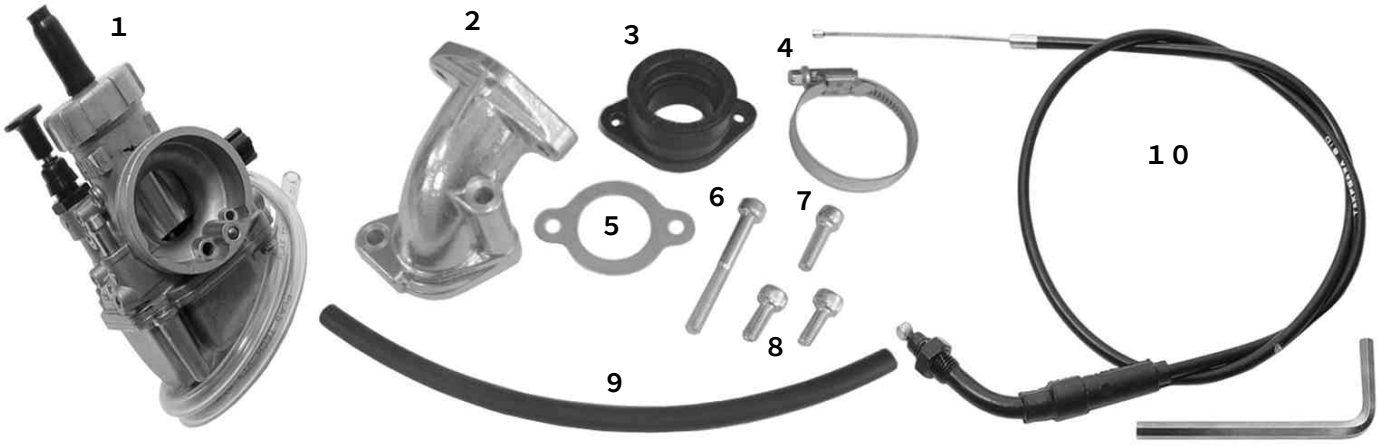
⚠警告　この内容を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
　（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
　（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。
・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
　なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

Jun./28/ 10

～商　品　内　容～



番号	部　品　名	数量	リペア品番	入数
1	キャブレターＡＳＳＹ．	1	０３－０３－０２２	1
※２	インレットパイプ	1	１７１１１－ＧＷ８－Ｔ００	1
※３	キャブレターインシュレーター	1	００－０３－０２０９	1
※４	クランプバンド（３０－４５mm）	1	００－００－００５０	1
※５	インレットパイプガスケット	1	００－０３－０００９	3
※６	ソケットキャップスクリュー　６Ｘ５０	1	００－００－００４４	3
※７	ソケットキャップスクリュー　６Ｘ２０	1	００－００－００４３	１０
※８	ソケットキャップスクリュー　６Ｘ１５	2	００－００－００４２	１０
9	フューエルチューブ　２５０mm	1	００－０３－０２０３（５００mm）	1
１０	スロットルケーブルＣＯＭＰ．８１０mm	1	０９－０２－００８１	1
	６角棒レンチ　５mm	1	――――――――	

※印は、０３－０２－０００５マニホールドキットの内容を示しています。
∴リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

出荷時キャブレター状態

メインジェット	＃１０８
スロージェット	＃４８
ジェットニードル	３６Ｓ
クリップポジション	３段目
スロットルバルブ	１ＳＣ
カッターウェイ	＃3.0
エアスクリューオープニング	１－１／２

●セッティングパーツ
☆メインジェット
＃８２、＃８５、＃８８、＃９０、＃９２、＃９５、＃９８、＃１００、＃１０２、＃１０５、＃１０８、＃１１０、＃１１２、＃１１５、＃１１８、＃１２０、＃１２２、＃１２５、＃１２８、＃１３０、＃１３２、＃１３５、＃１３８、＃１４０、＃１４２、＃１４５、＃１４８、＃１５０、＃１５２、＃１５５、＃１５８、＃１６０、＃１６２、＃１６５、＃１６８、＃１７０、＃１７２、＃１７５、＃１７８、＃１８０、＃１８２、＃１８５、＃１８８、＃１９０、＃１９２、＃１９５、＃１９８、＃２００
☆スロージェット
＃３８、＃４０、＃４２、＃４５、＃４８、＃５０、＃５２、＃５５、＃５８、＃６０

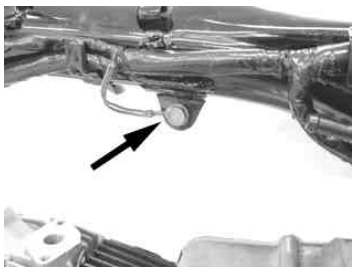
●更なる性能を発揮させる為に
☆スタンダードハイスロットル（０９－０２－０２２３）の取り付けが可能です。
☆ＰＥ２４用カールファンネル（ブルーアルマイト：０３－０１－０００－／レッドアルマイト：０３－０１－００１／ポリッシュ：０３－０１－００２）の取り付けが可能です。
☆ラウンドテーパーエアフィルター（Ｔｙｐｅ１：０３－０１－１０１／Ｔｙｐｅ２：０３－０１－１０７／ハイフローフィルター：０３－０１－１０７４）の取り付けが可能です。

～取　り　付　け　要　領～

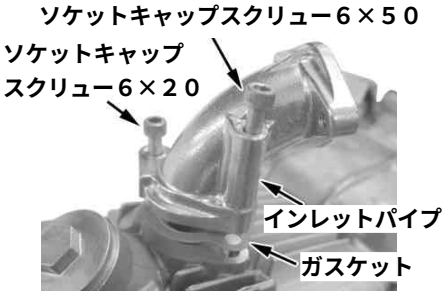
以下ではシート、フューエルタンク、キャブレター／マニホールド／エアクリーナー（エアフィルター）、スロットルケーブルを取り外した状態からの作業を記載しています。取り外しに関してはホンダ純正サービスマニュアル等を参照し作業を行って下さい。

※作業は水平で安全な場所で車両を安定させ、エンジン冷間時に行って下さい。

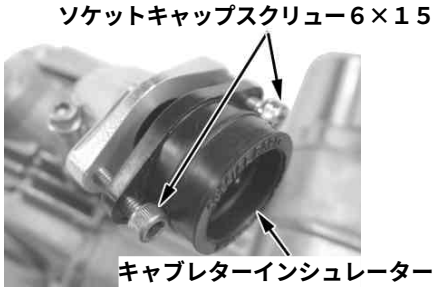
１．アース線をエアクリーナーステー部のボルトでフレームに取り付けます。



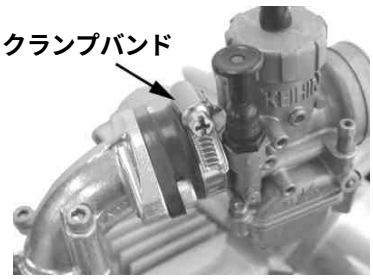
２．シリンダーヘッドとインレットパイプの間にインレットパイプガスケットを挟み、インレットパイプを６×２０と６×５０のソケットキャップスクリューで締め付けます。
規定トルク：１０Ｎ・ｍ
（１.０ｋｇｆ・ｍ）



３．インレットパイプにインシュレーターをソケットキャップスクリュー２本を用いて締付けます。
規定トルク：１０Ｎ・ｍ
（１.０ｋｇｆ・ｍ）



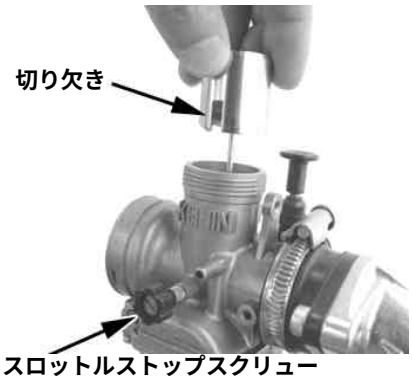
４．キャブレターをインシュレーターに奥までしっかりと差し込み、クランプバンドで締め付けます。



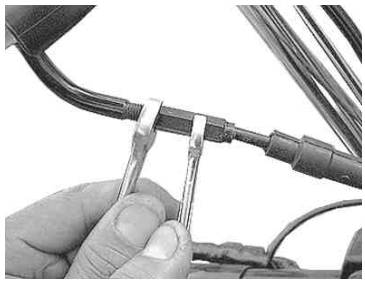
５．スロットルケーブルをスロットルハウジング、スロットルパイプに取り付け、ハンドルに取り付けます。

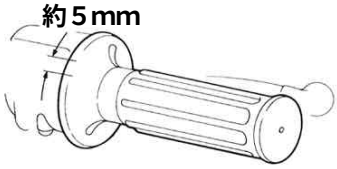
６．キャブレターのトップキャップを外し、スプリング、リテーナー、スロットルバルブを抜き取ります。
スロットルケーブルに無理がかからないように取り回し、トップキャップ、スプリング、リテーナー、スロットルバルブを取り付けます。

７．スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせて、キャブレターに取り付けます。



８．スロットルグリップ部で５mm程度の遊びが出来るように、スロットルケーブルのアジャスターを調節します。
※スロットルを数回スナップさせ、スロットルバルブの開閉状態を確認します。
※ステアリングを左右に一杯切った状態でスロットルに遊びがある事を確認して下さい。





９．ホンダ純正サービスマニュアル等を参照し、フューエルタンク、シートを取り付けます。フューエルチューブを差し込み、チューブクリップで止めます。
※フューエルチューブは、フューエルタンクとキャブレターに接続した状態で適度に余裕がある長さに切断して下さい。

１０．フューエルコックを開き、各部からのガソリン漏れの有無を確認します。
（コックを開いたまま長時間放置しないで下さい。）
チョークレバーを引きエンジンを始動させます。チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行い、チョークレバーを完全に戻します。エンジン暖機後アイドリングしない場合やアイドリング回転数が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。
安全な場所で十分注意し、個々の車体に合ったセッティングを行って下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９
大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
ＴＥＬ　０７２１－２５－１３５７
ＦＡＸ　０７２１－２４－５０５９
ＵＲＬ　http://www.takegawa.co.jp

キャブレターセッティング要領

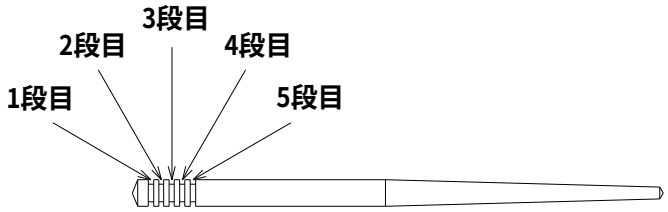
・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの２つの原因に絞られます。
・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。（黒い） ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。（息付きをおこす） ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○ジェットニードル　（スロットル開度１／４－３／４）

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか
・息付きをする場合、濃くして下さい。
・回転の上がりが重く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。
この開度での混合比は、Ｅリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Ｅリング位置が１段目から５段目に下がるにつれ混合気は濃くなります。



○メインジェット　（スロットル開度３／４－４／４）

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。
仕様等を考慮の上、最高回転数（最高速度）の得られる物を選んで下さい。

○パイロットジェット　（調整前にまずエアスクリューを調整して下さい。）

・エアスクリューの戻し量３.０回転以上の場合は、パイロットジェットを小さくして下さい。
・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
　パイロットジェットはアイドリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。（アイドル回転時）
・排気が濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。（アイドル回転時）
・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

○エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。（アイドリング時）
・エアスクリューを右に回す→混合気が濃くなる。
・エアスクリューを左に回す→混合気が薄くなる。
標準戻し回転数（１.５回転）に合わせ、左右に１／４－１／２回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。
アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川　〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７　FAX ０７２１－２４－５０５９　URL http://www.takegawa.co.jp

2021.11.24